



看護 くまもと

— KANGO KUMAMOTO —

No.
111
2019年
11月11日発行

- ・看護管理者会(中央開催)
- ・職能委員会研修報告
- ・支部共催研修報告
- ・ワーク・ライフ・バランスの取り組み
- ・高校生の一日看護体験、看護学生体験
- ・理事会開催状況
- ・ナースセンターからのお知らせ



熊本県看護協会
公式キャラクター
「マモル君」

会員数

保健師： 478名
 助産師： 373名
 看護師：13,488名
 准看護師： 1,425名

2019年11月1日現在 会費納入者数

祝

河津寅雄賞 受賞おめでとうございます

市原 幸 様

(熊本県看護協会・元 熊本県健康福祉部)

「まちの保健室」が表彰されました

熊本県健康づくり県民会議表彰

令和元年10月15日、熊本県看護協会の「まちの保健室」活動を評価いただき蒲島知事より表彰状を頂きました。

日頃の支部活動に感謝申し上げますと共に、さらに県民への健康づくりに貢献してまいります。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。



令和元年度 看護管理者会(中央開催)特別講演



講師 坂本すが氏

9月8日(日)熊本県看護研修センターにおいて、令和元年度看護管理者会(中央開催)特別講演が開催され、熊本県内施設の看護管理者123名の参加がありました。

特別講演は東京医療保健大学副学長(前日本看護協会会長)坂本すが氏より「看護管理者として現場の課題を政策提言につなげる」と題して講演いただきました。

講演の内容は、坂本氏のご経験、ご経歴の中から紐解いて、具体的に分かりやすく、看護管理者として必要なことは何か。

看護協会も研修の時代から政策の時代になったと言われました。これは管理者個人にもあてはまることで、管理者が管理職になって「あなたは管理者になって何をしましたか」と問われて、はっきりと答えられる内容がないといけない、そのためには将来のビジョンを明確にもち、それを目標に計画をもって推し進めていく必要があると述べられました。そこで、なぜ政策なのかについて「個人や個の集団のビジョンに終わらせず、ほとんどの看護職やほとんどの患者に行き渡るようにすることが政策である。」と、そのための具体的な工程をもち、現状

を改善したり、働く人を支援するために、法律や制度の仕組みを変えていく必要があるとも話されました。

少子・超高齢社会の中で、看護を取り巻く変化に伴い、地域包括ケアや夜勤のガイドライン、特定行為研修など多岐にわたる政策があります。気づきやアンテナから出る、新たな課題を政策として提言できるような「学習する組織」を作る必要があると示されました。

今回のお話の中で、「政策や目標の方法に看護の本質が埋没されてはいけない」、「看護の本質が流れてしまうと、看護は他の人でも出来るようになる」「看護管理のキーワードは対話である。一人一人にビジョンがあり、そのビジョンを共有する為の、安全と安心の中にある対話が重要である」と話された点が印象に残り、高度医療の時代においても、大切なものは看護職としての心のあり方なのだと感じました。

広報委員会 國本 珠美



会場風景

職能委員会研修報告

～助産師職能委員会より～



令和元年8月24日（土）に研修会「産科で起こる危機的出血への対応」を八代市の熊本労災病院で開催しました。助産師職能委員会開催の研修会と聞くと、助産師しか参加できないのか、と思われる方もいらっしゃいますが、今回は手術室や小児科の看護師など職種や会員・非会員関係なく、計36名の方にご参加いただきました。また複数名のスタッフが参加されていた施設もあり、研修会内容の共有化や自施設での業務改善の提案につなげていただけたのではないかと期待しております。

講師は熊本労災病院の本田智子先生に担っていただきました。今年度も含めまして、3年連続で開催しております。

講義内容は産科危機的出血で重要とされる「常位胎盤早期剥離」、「羊水塞栓症」、「分娩後大出血」に焦点をあて、予防、診断、対応についてわかりやすくご講義していただきました。また講義後半には症例をもとに分娩後大出血時の対応の演習を行いました。日本では妊産婦死亡数は39件（2015年）あり、先進国のなかでも安全なレベルの周産期体制とは言われていますが、0（ゼロ）にならないのが現状です。その妊産婦死亡数の原因の23%は産科危機的出血であり、その半数（49%）を占

める要因は羊水塞栓症だそうです。参加者のなかにも数名の方が羊水塞栓症の症例を経験したという方がいらっしゃいました。参加者からは「丁寧に病態生理などを説明してもらったため理解できた」、「出血時のフローチャートを作成したい」、「助産師の立場で行うべきことが分かった」など研修会に満足したというご意見がありました。

本研修会は講師の先生が新しい情報を盛り込んでくださいますので、毎年受講しても良い研修だと思います。またクロックミップレベルⅢ認証制度の申請並びに更新申請には必須研修となっていますので、受講の機会を逃さないようにしてください。今後も周産期に関わる看護職の方への研修会の案内を続けていけたらと思います。

現在、助産師職能委員会は9名の委員で活動しておりますが、委員会の活動にあたっては県下の助産師、皆様のお力が不可欠です。「県下すべての助産師・看護師の質向上」を目標にかかげ、受講しやすい環境を整える行動計画の一つとして八代地区での研修を開催しております。どうぞ忌憚のないご意見や研修会へのご参加をお待ちいたしております。

助産師職能委員会 吉田 佳代



研修会名 「摂食・嚥下」研修～摂食・嚥下障害のある人へのケア



令和元年8月3日（土）、山鹿健康福祉センターにおいて、支部共催研修を開催致しました。テーマ選定においては、看護ケアに活かせ、現場でも興味のあるものにとしようと、今年度は摂食嚥下研修を企画させて頂きました。済生会熊本病院、摂食・嚥下障害看護認定看護師の山川美樹先生を講師に招き「摂食嚥下障害への支援と口腔ケア」をテーマに3時間の研修が開催されました。受講者からは終了後も「摂食嚥下についての研修は数多く参加したことがあるが、今回の研修は看護師目線でもあり、多職種での関わり方も学ぶことができ大変勉強になった」と喜びの声が聞かれました。

またトロミ剤を使った演習は好評で現場での振り返りができた学び多い研修となりました。

鹿本支部長 白木 照美

1) アンケート結果（受講数19名、回答数19、回収率100%）

1. 今回の研修は満足できたか

- ①はい 17名 (89.5%)
- ②いいえ 0名
- ③無回答 2名 (10.5%)

理由：①資料もわかりやすく、話も実践的でわかりやすかった
②実践できる知識・技術を学べた
③演習があり、楽しく学べた
④STにお願いして評価してもらっていたが、看護師でも評価できることを知る事ができ今後業務に活かしていきたい

2. 研修内容は理解できたか

- ①はい 18名 (94.7%)
- ②いいえ 0名
- ③無回答 1名 (5.3%)

理由：①実践を交えた講義で資料も見やすく、説明もわかりやすかった
②食事時の基本姿勢・食事介助のポイントが理解できた

3. 看護実践に活かせるか

- ①はい 18名 (94.7%)
- ②いいえ 0名
- ③無回答 1名 (5.3%)

理由：①正しいとろみの作り方・口腔ケア・口腔内評価など
②食事介助するスタッフに指導ができそう
③日常的に行っているケアを学んだことで活用できそう

2) 摂食嚥下障害、ケアについて学びを深めたい内容

- ・誤嚥時や窒息時の対応について学びたい
- ・高齢者の経管栄養から経口摂取移行時の支援方法について

3) 研修を終えて

今年度より、支部共催研修の企画が変更されたことで、支部役員としても研修企画する際の選択肢が増え、その中で希望の研修を取り入れることができた。また、今回の研修のように土曜日の午後3時間という時間設定は受講者にも無理のない研修となり、参加者の増員にも繋げることができた。今後も県看護協会の協力を得ながら会員の皆さんからの希望を取り入れ、多くの方が参加できる研修の企画を行っていきたいと思う。



食事介助演習の様子



正しいとろみの作り方の演習

研修会名 「皮膚排泄・スキンケア」研修～知っておきたいスキンケアと褥瘡



令和元年8月31日(土)、公立玉名中央病院大ホールにおいて、支部共催研修「皮膚排泄・スキンケア」を開催しました。今年度の支部共催研修は「感染管理基礎編」・「皮膚排泄・スキンケア」・「認知症看護」・「摂食嚥下障害」この4項目より2項目を支部で選択し実施するという初の試みでした。開催までは講師の先生方もかなりご苦労があったようですが、蓋を開けてみればアンケート結果からもわかるように、研修への満足度は32名中32名が満足(100%)との回答でした。

研修は前半が荒尾市民病院、皮膚・排泄ケア認定看護師、松北直美先生が「知っておきたいスキンケアと褥瘡」を、後半を公立玉名中央病院、日田さやか先生が「褥瘡ケア」について、演習あり、写真や動画を使った指導ありで、現場に持ち帰ってすぐにでも実践に活かせるような内容でした。特に今回は講師の先生が、自分たちの身近で一緒に仕事をしている認定看護師であったため質問もしやすく、非常に活気のある研修になりました。

有明支部長 津田 恵美

受講生の声

- ドレッシング材のはがし方は、分かっているようで分かっていた。実践していきたい。
- 褥瘡評価DESING-Rの評価の仕方が、日々の評価の中で迷うことが多く研修で理解できた。褥瘡委員として他のスタッフへ伝達していきたい。
- スキンケアも日々変わっていくと思うので新しい情報を今後も学んでいきたい。... など

前向きな意見が多数聞かれました。



演習の様子

アンケート結果 (受講数32名、回答数32、回答率100%)

1. 参加動機

- ① 研修内容に興味があったから 23名 (71.9%)
- ② 勧められたから 9名 (28.1%)

2. 今回の研修は満足できたか

- ① はい 32名 (100%)
- ② いいえ 0名 (0%)

3. 研修内容は理解できたか

- ① はい 32名 (100%)
- ② いいえ 0名 (0%)

4. 研修内容は看護実践に活かせそうですか

- ① はい 32名 (100%)
- ② いいえ 0名 (0%)





(カンゴサウルス)

Are You Happy?

ワーク・ライフ・バ
W

阿蘇温泉病院



阿蘇温泉病院 総師長 熊谷直美

当院は熊本県の北部にある260床を有する病院です。阿蘇で唯一の産婦人科、緩和ケア病棟を有し、135名の方々に透析を行っています。そんな当院がワーク・ライフ・バランスに取り組んだのは平成27年からの3年間でした。最初の年はワーク・ライフ・バランスについて周知を行うため各部署に就業規則を配布しました。また、平成28年4月16日には熊本震災による国道57号線の崩落のため熊本市内等から通勤していた職員が次から次へと退職する中、残った職員は子供とともに出勤していました。託児所は病院の中にあるレストランを活用し、安心して仕事ができるよう工夫がされました。地震は深夜に起こっており夜勤者の出勤、退社に不安を感じました。そこで、2交代制を勤めるために県からの補助金を活用し、全病棟に仮眠室を配置したことで仮眠や休憩を取りやすくなりました。3年間に当院では離職者を減らすために勤務時間や夜勤の種類など自由選択を認めています。夜勤専従看護師の導入は夜勤者が少ない病棟では1人の夜勤回数を減らすために有効だと考えました。2交代の看護職員が35%から45%へ増加しました。当院では看護職員それぞれにあったスタイルでの勤務やお互い様の考えで急な休みも認めています。中途採用者にも、早く現場に慣れていただけるようオリエンテーションを具体的に人事・看護部・病棟で行っています。これからも職場環境の改善に努めていきます。



仮眠室

勤務形態の自由選択について

- ・日勤
 - ・夜勤
 - ・2交代
 - ・3交代
- から選択する

レストラン託児所について

震災からGW明けまで、レストランも閉鎖していた上に、病棟・外来から近く1階にあるため、すぐに子供の顔を見に行けるようにして不安を取り除いた。



ワークライフバランスの取り組み

ナースの働き方を
カエル!



鶴田病院



カンゴサウルスはワーク・ライフ・バランス推進を応援する「繁栄」と「変革」のシンボルです。

鶴田病院 看護部長 笠 千春

鶴田病院は、昭和48年に地域医療への貢献を目標に開院、平成24年に新病院へ移転しました。「がん診療」「地域医療」「基幹病院と在宅を結ぶ懸け橋」の3つを柱とした一般病棟（地域包括ケア病床含）、回復期リハ病棟、緩和ケア病棟を有する105床の病院です。看護師の平均年齢は38歳、23歳から67歳までの幅広い年代の看護師が活躍しています。未就学児の子を持つ看護師が全体の27%です。

当院は、看護協会の主催するWLBワークショップに平成27年度より参加しました。

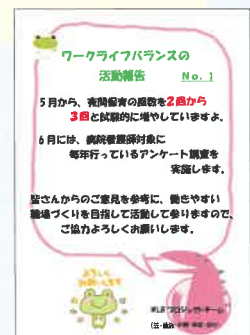
2年目に熊本地震で職員も被災した中で、これからどのように進めていっていいのかわかり、また一時的に離職者が増え大きな挫折を経験しました。しかし看護協会や院長また職員が支えとなり3年間のワークショップを皆で楽しく取り組めたことは自信や誇りに繋がりました。

30分刻みの勤務、6時間からの短時間正職員制度の導入で、育児休暇後の職員も復職しやすい環境を整えました。現在は色々な事情で子育てだけでなく利用している職員もいます。また法人内託児所に毎月3回の夜勤と2回の日曜保育を開始し利用できるようにしています。この時は他の保育園を利用している職員も、1回500円と利用しやすく設定しており、それによって利用率もあがり全体の夜勤回数が少しでも公平にできるようにと考えました。

一般病棟へ薬剤師の配置ができたことも業務改善に繋がっています。

これまで看護師2人で毎日実施していた内服薬のダブルチェックも薬剤師が介入することで、1人は看護ケアに専念することができています。また薬剤師が病棟に居てくれることは、看護師だけではなく医師もいつでもタイムリーに直接相談や質問することができ効率が良くなったこと、何より医療チームの促進につながっています。

3年間のワークショップ取り組みは終了しましたが、PDCAサイクルを意識し、現在も月1回はチームで集合し活動報告として周知しています。課題はまだたくさんあります。今後も子育て支援だけでなく、働く職員それぞれが仕事と生活の両立を無理なく実現できるよう粘り強く取り組み、法人の理念である「笑顔に満ちた地域の施設」を目標に、職員の笑顔もあふれる環境づくりを目指していきたいと思っております。



高校生の一日看護体験



＋ 一日看護体験 【熊本大学病院】

「自ら行動するということ」

熊本学園大学付属高等学校 3年 柏原 菜名

私は、将来看護師になりたいという夢があります。そのために少しでも看護師の仕事を体験したいという思いで一日看護体験に参加しました。実際に体験してみて感じたのは、「気配り」と「コミュニケーション」が大切だということです。看護師さんは、常に患者さんのことを考えて動かれていました。患者さんが気持ちよく過ごせるように、病院内にもいろんな部屋や設備が用意されていました。それだけでなく、患者さん一人一人に合わせて看護師さんが行動されていて、数えきれない気配りが患者さんを笑顔にしているなと感じました。また、看護師さんは笑顔を絶やさず、コミュニケーションを大事にされているなと感じました。私が体験した洗髪、足浴でも、患者さんと会話することで、表情や言葉で気が分

かり、気持ち良さそうだなと嬉しい気持ちになりました。話すことで緊張もほぐれ、リラックスできました。

これらの体験から、何事でも自ら考えて行動することを学びました。一日看護体験の数日後、熊本駅の真ん中に一人のおじさんがいました。その方は、車椅子に乗っていて、一人で動けずに止まっていた。私は、体験で学んだ自主性を生かして声をかけ、おじさんを助けることができました。実際に学んだことを生かして行動してみて、改めて看護師さんのすごさが分かりました。それと共に、一日看護体験と実際の体験から、私もたくさんの人を笑顔にできる看護師さんになりたいと強く思いました。

＋ 一日看護体験 【熊本機能病院】

「看護で生まれる新しい家族」

熊本学園大学付属高等学校 3年 岡本 咲

私は熊本機能病院へ看護体験へ行きました。当日はとても緊張していましたが、看護師さんの優しい対応に安心して体験を行うことができました。

私は患者さんの病室に直接訪問してもらい、看護師さんが患者さんのケアをする所を見学しました。病棟の患者さんの中には、重病などで声が発声できない人や、会話を使ったコミュニケーションが難しい方がいらっしゃいました。その中で看護師さんは、患者さんの目の動き、小さな息づかいだけでコミュニケーションをとり、励ましたり、声をかけたりしていました。皆笑顔で、とても温かい空間だと思うと同時に、まるで家族のようだなと思います。看護師という仕事は、患者さんの治癒やお世話をするだけでなく、コミュニケーションを通してお互いの関係を深めていくことが大切だと思

いました。また、患者さんの状態や医療機器などの関係によって限られた範囲でもできる限りのケアを行っていた看護師さんの姿にはとても感動しました。明るく、冗談も交えたりしながら、患者さんの表情を読みとって会話をしている所を見ると、本当に人を大切にできる人でないといけない仕事だと思います。

看護体験に参加する前は、看護師と患者さんをどこか線引きしていた自分がいました。今回の体験を通して、看護師さんと患者さんの家族のような温かくて安心した関係を知ることができて、自分の中でも新たな発見ができました。参加して本当に良かったと思うし、ますます看護についての興味が深まりました。今回の体験で学んだこと、気づいたことを、自分の将来に生かしていきたいと思っています。

看護学生体験



一日看護学生体験

【熊本看護専門学校】

「優しい力」

私が看護学生体験に参加して思ったことは看護に強い力は必要ないんだということです。体位変換は看護師が強い力を使って行うこと、負担がたくさんかかることだと思っていました。しかし、実際に体位変換を行ってみると、患者さんの膝を曲げるなどして患者さんを小さくすることでできるだけ小さな力で体位変換ができました。そのことから看護は看護師、患者のお互いが負担が少ない、優しい力で成り立っていることが分かりました。また、看護学生体験の中に在校生との交流会がありました。そこで私は在校生の方がおっしゃっていたことが心に残りました。「私たちが患者さんに助けてもらっている。」という言葉です。そして、「こんなに感謝してもらええる仕事は看護師の他は多分ないだろう。」という言葉も印象に残りました。看護師からの協力してくれてありがとうという感謝と患者からの手助けしてくれてありがとう

熊本市立必由館高等学校 3年 野原 実佳

という感謝、お互いが感謝することは素晴らしいことだと思いました。そして私も看護師になってお互いに感謝できるような素晴らしい看護をしたいと強く思いました。私は一日看護学生体験に参加したことで看護師の仕事に対する間違った知識と思い込みを正しくすることができました。そして、白衣を初めて着用できてとても嬉しかったです。熊本県も看護師がもっと必要になると知ったので、熊本県で働きたいと思いました。最後に在校生の方がおっしゃった看護観「患者さんの病気を看るのではなく、患者さん自身を看る」ということを心の隅に置きながら看護学生となり、たくさんの知識と技術を蓄えたいと思います。少ない時間でたくさんのことを教えて頂いた熊本看護専門学校の方、ありがとうございました。



「夢の実現に向けて」

山鹿市民医療センターでは今年も暑い中14人の高校生の方に参加いただき【高校生の一日看護体験】を行いました。なかには、2年連続で参加していただいている高校生もおられ、看護師への夢や憧れを教えてくださいました。まず、白衣へ着替えて、現在では廃止になっていますがナースキャップを着用して看護体験をしていただきました。ナースキャップをつけるお手伝いをしたとき、私も戴帽式で初めてつけてもらった事を思い出して嬉しい気持ちになりました。看護体験内容は、リハビリ室での階段を使って松葉杖体験や、緩和ケア病棟の見学、他4病棟に分かれて患者様とのコミュニケーション、車いす体験、採血の実際を見学し、足浴を体験されました。一つひとつ興味深く熱心に、目を輝かせながら実際の現場での体験をされているのが印象的でした。

看護体験後の感想では、「看護師になることが夢」と語っ

山鹿市民医療センター 城 由利子

てくれた高校生や、「実際の現場で体験できてよかった」「最初車椅子体験はどう介助すればいいかわからなかったが、実際に介助・自走体験してみても、私にもできる時があればお手伝いできるようになりたい」と、嬉しい感想をいただきました。中には、栄養士になりたい高校生もおられ、実際に栄養士さんから話を聞くことができ「食事を提供するうえで注意していることや、工夫できる内容がわかり目指す目標ができた。」と、体験できてよかったという嬉しい感想もいただきました。

私の学生の頃にはなかった体験で、少し羨ましくも思えたこの看護体験でしたが、患者様も私たちスタッフも若いエネルギーをもらえたように思います。限られた時間の中で、看護師やそれ以外の職種への興味が深まり、夢の実現に向けて少しでもお手伝いできたのであれば嬉しく思います。

「初体験で緊張」

8月1日に15名の高校生を迎え、5病棟に分かれて一日看護体験をしていただきました。私は3名の高校生を担当し、患者さんとのコミュニケーション、バイタルサインの測定、車椅子の乗車体験等を一緒に行いました。白衣に着替えた高校生は、表情がかたく緊張した様子だったので、楽しい看護体験になるだろうかと私も少し不安でした。高校生は、患者さんとのコミュニケーションの中で、最初はどの声をかけたらよいか戸惑ったり、声が小さくて相手に伝わらないことがありました。しかし、目線を合わせてはつきり話すなどのアドバイスをすると落ちついて上手に会話をすることができました。そのような関わりの中で、患者さんの笑顔をみて、高校生の表情も和らいでいきました。

熊本セントラル病院 上村 郁美

お互いに血圧測定をした時には、「音が聞こえた」と目を丸くさせながら嬉しそうな反応がみられました。

私は、一日看護体験に初めて携わり、高校生とうまくかわれただろうか、短い時間の中で看護の魅力を少しでも伝えられたらどうかと不安が残りました。しかし、体験後の意見交換会では「患者さんとのコミュニケーションが大事」「配膳時に細かい気配りを感じた」「容態をみるだけでなく、どうすることが必要か考える事が大事」といった感想が聞かれました。高校生は体験を通して様々な事を感じ取っており、うれしくもあり、安心もしました。私も緊張した一日でしたが、次回はより楽しい看護経験にしたいと思いました。

2019年 高校生の一日看護体験 参加人数

実施病院	実施日	人数	実施病院	実施日	人数
1 熊本地域医療センター	7月31日(水)	18	20 国立病院機構熊本再春医療センター	7月31日(水)	28
2 熊本大学病院	7月31日(水)	40	21 国立療養所菊池恵楓園	8月2日(金)	10
3 熊本赤十字病院	7月31日(水)・8月2日(金)	57	22 国立病院機構菊池病院	7月31日(水)	4
4 済生会熊本病院	8月1日(木)・2日(金)	59	23 阿蘇医療センター	7月31日(水)	4
5 国立病院機構熊本医療センター	7月31日(水)	38	24 阿蘇温泉病院	7月31日(水)・8月2日(金)	5
6 熊本中央病院	7月31日(水)	30	25 山都町包括医療センターそよ病院	7月31日(水)	6
7 自衛隊熊本病院	8月2日(金)	10	26 国立病院機構熊本南病院	7月31日(水)	8
8 くまもと成仁病院	8月1日(木)・2日(金)	10	27 熊本県子ども総合療育センター	8月1日(木)	5
9 熊本機能病院	8月2日(金)	18	28 宇城総合病院	8月2日(金)	6
10 青磁野リハビリテーション病院	7月31日(水)・8月2日(金)	14	29 熊本総合病院	8月2日(金)	28
11 くまもと森都総合病院	8月1日(木)・2日(金)	19	30 熊本労災病院	7月31日(水)	31
12 江南病院	7月31日(水)	10	31 水俣市立総合医療センター	7月31日(水)	20
13 くわみず病院	7月31日(水)~8月2日(金)	30	32 人吉医療センター	7月31日(水)	22
14 玉名地域保健医療センター	7月31日(水)	7	33 公立多良木病院	8月1日(木)	8
15 公立玉名中央病院	7月31日(水)	17	34 天草中央総合病院	7月31日(水)	8
16 荒尾市民病院	8月1日(木)	8	35 天草市立河浦病院	8月2日(金)	12
17 山鹿市民医療センター	8月1日(木)	14	36 天草市立牛深市民病院	8月2日(金)	11
18 菊池都市医師会立病院	8月1日(木)	14	37 上天草市立上天草総合病院	7月31日(水)	20
19 熊本セントラル病院	8月1日(木)	15			
					計 664名

2019年 高校生の一日看護学生体験 参加人数

実施病院	実施日	人数
1 九州看護福祉大学看護福祉部看護学科	8月2日(金)	29
2 熊本保健科学大学保健科学部看護学科	7月30日(火)	23
3 熊本医療センター附属看護学校	7月23日(火)	10
4 熊本看護専門学校	8月8日(木)	17
5 九州中央リハビリテーション学院看護学科	8月8日(木)	26
6 熊本駅前看護リハビリテーション学院看護学科	7月31日(水)	18
7 熊本市医師会看護専門学校	8月1日(木)	19
		計 142名

【申込総数】1,230名

【決定総数】845名

※ご協力いただいた施設の皆様、大変お世話になりました。

県委託で実施している2018年度に採用した看護職員数及び2019年度に必要な看護職員数（予定数を含む）、2018年度の離職者数について調査しました。結果を抜粋して報告いたします。

● 2018年度の採用数と2019年度に必要な看護職員数(予定数含む)

施設種別	対象施設	回答施設	2018年度の採用数			2019年度の採用数(予定数含む)		
			需要有り	採用数	(内新卒)	需要有り	採用数	(内新卒)
病院	212	191	186	2,213	746	185	2,355	917
診療所	1,288	598	231	514	42	218	543	60
介護老人保健施設	88	54	34	72	3	35	68	5
介護老人福祉施設	137	85	51	96	1	55	115	9
その他の社会福祉施設	72	45	22	35	3	14	24	0
訪問看護ステーション	115	82	48	89	1	47	88	3
デイサービス	151	88	37	54	1	37	53	3
学校・養成所	24	22	15	42	0	10	23	0
計	2,087	1,165	624	3,115	797	601	3,269	997

・2018年度に採用した看護職員数は3,115名。うち、新卒（2018年3月卒業者）採用は797名。

・2019年度に必要な看護職員数（予定数含む）は3,269名となっている。内新卒が997名。

● 2018年度看護職員離職者調査

施設種別	対象施設	回答施設	回答率	離職有り			離職無し 施設数
				施設数	離職者数 (内新卒)	施設数	
病院	212	191	90.1%	187	1,929	70	4
診療所	1,288	597	46.4%	233	499	4	364
介護老人保健施設	88	54	61.4%	37	65	0	17
介護老人福祉施設	137	85	62.0%	46	86	0	39
その他の社会福祉施設	72	45	62.5%	18	31	0	27
訪問看護ステーション	115	82	71.3%	42	71	0	40
デイサービス	151	88	58.3%	30	35	0	58
学校・養成所	24	22	91.7%	15	30	0	7
計	2,087	1,164	55.8%	608	2,746	74	556

・回答数1,164施設、回答率55.8%、離職者2,746名。

・2018年3月卒業で、2018年度に採用された新卒者は797名。離職者は74名。

・病院の離職率は、10.24%、新卒の離職率は9.38%。

・離職理由（複数回答）は、「他分野の看護への興味」が最も多く336名、「健康上の理由（身体的）」が215名となっている。

2019年度(9~10月) 熊本県看護協会の理事会開催状況

2019年度 第5回 9月5日(木)

1. 令和2年度熊本県への予算要望について
2. 令和元年度九州地区別法人会・支部役員等研修会の開催について
3. 令和2年度熊本県看護協会職能別交流集会の運営について
4. 看護くまもと111号企画(案)・広告について
5. 熊本県看護協会福利厚生事業について

2019年度 第6回 10月17日(木)

1. 熊本県看護協会規則集 給与規程改正(案)について
2. 熊本県看護協会 令和2年度重点政策(案)について
3. 熊本県看護協会役員・支部長・職員研修会(案)について
4. 熊本県看護協会、看護連盟合同研修会(案)について
5. 令和2年度熊本県看護協会研修計画(案)について
6. 令和元年度熊本県看護研究発表会開催要項(案)について
7. 令和2年度看護の日記念事業について
8. 看護くまもと112号企画(案)について

2020年度の会員継続 並びに申込について

2020年度より会員申込をされたい方は、**2020年度用の申込書**にご記入ください。
申込書の請求は「熊本県看護協会」まで。

2019年度の通常総会で承認されましたとおり、
2020年度の会費から**13,000円**となり、
会費額が変更されます。

※日本看護協会費：5,000円 熊本県看護協会費：8,000円
施設取りまとめでご入金の施設につきましては、
会費額の間違いないようお振込みください。

熊本県外へ転出された方は、 必ず熊本県看護協会 と移動先の看護協会へご連絡を!

連絡がないと次年度の会費も熊本県看護協会の会費として引
き落とすこととなりますので、必ず両県にご連絡をお願いします。
(初回引き落とし日：1/27)

罹災見舞金・弔慰金

火災、風水害、震災等で家屋等に被災された場合、罹災見舞
金が、日本看護協会及び県看護協会からおくられます。また、
会員が死亡された場合、同じく弔慰金をお届けします。該当す
る場合は、施設代表者または支部長にご連絡ください。

新しい健康づくり支援事業

会員及び家族の健康づくりを支援するため、2つの施設と提
携して、2019年10月から、会員割引で利用できるようになり
ました。

スポーツクラブ ルネサンス

入会金無料、会員割引(マンスリー 7,800円税別)等
健康体操教室 カーブス 入会金割引等



詳細はホームページをご覧ください
健康づくり支援事業やレジャー施設補助等の福利
厚生をホームページにまとめて、その入り口を協
会ホームページのトップページに作りました。
ぜひ、ご活用ください。

編集 後記

「1」は始まりの数字です。皆さまお気づきですか?今
月の発行日は令和1年11月11日。さらに今月号は111
号です。

この日を敢えて狙って発行いたしました。令和1年も残りわずかとな
りました。何かと忙しい年の瀬に入りますが、なにか記念に残るよ
うな事をやってみては如何でしょうか。

編集(広報委員)
担当理事 野中須奈子 委員 松村江里子 清田朝子 野田美奈
委員長 平野 宏一 委員 鹿子木智美 森 晴子 國本珠美 村上嘉寿美

看護くまもと 第111号

発行日 2019年11月11日
発行者 嶋田晶子
編集者 広報委員会
発行所 公益社団法人 熊本県看護協会
熊本市東区東町3丁目10番39号
TEL 096-369-3203
FAX 096-369-3204
URL <http://www.kna.or.jp>